

栗東市農業委員会

発行日：令和元年12月13日
発行：栗東市農業委員会広報部会
所在地：栗東市安養寺1-13-33
TEL077-551-0319 / FAX077-551-0148

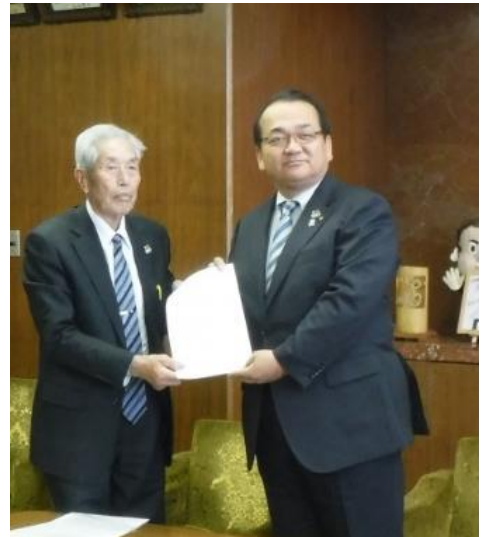
三二広報

農地の荒廃・乱開発を防ぎ、優良農地を維持するために、農地パトロールを実施中！！

令和2年度に向けた意見書を提出！



▲野村市長に意見書の内容を説明する農業委員



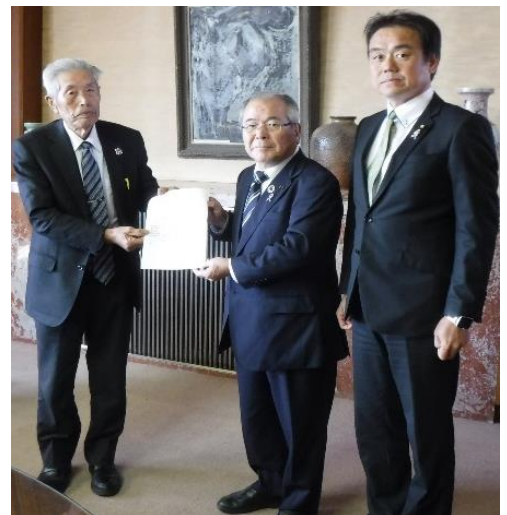
▲野村市長（右）に意見書を提出する農業委員会武村会長（左）

令和元年11月15日、栗東市農業委員会は、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、「令和2年度に向けた栗東市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を野村昌弘 市長に提出しました。

また、同日に栗東市議会の藤田 啓仁 議長、並びに田中英樹 副議長 を訪問し、意見書の内容を市議会として反映して頂けるよう、要望書として提出し理解を求めました。

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、後継者や担い手の不足、遊休荒廃農地の増加、有害鳥獣の被害等、深刻な状況にあります。このような中、国は、農地中間管理事業等による担い手への農地集積・集約化の加速化を掲げ、集落の現状把握や、「人・農地プラン」の実質化に向けた話し合い等の取り組みを強化する必要があることから、農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）を改正し、更なる取り組みを求めているところです。

つきましては、当農業委員会の委員並びに農地利用最適化推進委員は共に協力し、農業委員会の主たる使命である「農地等の利用の最適化」をより良く果たすため、「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入の促進」の推進に取り組んでいくため、関係行政機関やJAをはじめとする関係農業団体との協力・連携が必要であると、各種の施策提案も含め、意見しました。



▲藤田市議会議長（右から2人目）、田中副議長（右）

遊休・荒廃農地等の パトロールを実施！



農業委員会は、日常的な農業委員等の担当地区ごとのパトロールや農地相談に加え、月例の市内農地パトロールを実施し、無断転用等の抑制に取り組んでいます。

令和元年10月18・23～25日の4日間、農地部会を中心に課題農地の対策の一環として、全市地域を対象に大規模な農地パトロールを実施しました。

昨年に引き続き遊休・荒廃農地として課題のある農地の地権者に対して、通知及びヒアリングを実施します。遊休・荒廃農地を抑制するためにも日々の自己管理とお困りの際には地域担当の農業委員等への相談をお願いします。



手作りうどん教室の開催

滋賀県産
小麦粉使用



▲教室にはご夫婦や親子が参加

国産小麦を使用した商品を見かけることも多くなりましたが、日本で消費されている小麦粉の約9割は外国産の小麦から作られています。

日本に輸出される小麦等には、カビや害虫を防ぐためポストハーベストが散布されており、日本で収穫後農薬として危険な話題になることがあります。

このことから、当農業委員会は、地元農産物への理解を深めて頂くため、今回、滋賀県産小麦粉を材料にうどんを作っていただき、参加者に楽しんで学ぶ機会を提供しました。

令和元年10月26日、治田東コミセンで女性農業委員の会による「滋賀県産小麦粉でうどんをつくろう」をテーマに食育を行いました。親子や友人同士など約30名参加され、家庭ではできない貴重な体験の場になりました。

また、うどんだけではなく、栗東産の野菜や赤こんにゃく、ごぼうなどを使用した郷土料理を中井あけみ委員が参加者に振る舞い、大変好評でした。



▲自分で作ったうどんを試食

栗東農業まつりに参加!!

令和元年11月16日～17日に開催された「栗東農業まつり」は、本市の自然、実り、食、農業に感謝し、栗東農産物の「地産地消」「安全・安心」への取り組みや地元農産物・特産品のPRや、生産者と消費者、農業者と地域社会との「ふれあいの場」の提供をすることにより、将来の本市や日本の農業の在り方について考え、関心をもつていただくことを目的に開催され、本農業委員会も参加しました。

本農業委員会では、栗東産にこだわり、栗東産米粉を使用した農業委員の手づくりワッフルや、同じく委員手づくりの麴を使用した甘酒、焼いも（本市浅柄野産）を販売しまつりを盛り上げました。

天気にも恵まれ、消費者との交流を深められ、大盛況で終えることができました。

同時に全国農業新聞の加入啓発や、農業者年金の加入の推進に取り組み、新規で全国農業新聞に2名加入していただきました。



【農地利用の最適化に向けた研修会】



令和元年10月29日、県立男女共同参画センターにて、「令和元年度 農地利用の最適化に向けた研修会」に参加しました。

本年5月に農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部が改正され、農業委員会の役割として農地所有者等への意向把握、集落の話し合いへの参画が位置付けられ、「人・農地プラン」の実質化を図る必要があります。

これらの先進的な事例および話し合いの進め方や合意形成の手法などについて、「地域の合意形成と話し合いの進め方（理論編）」と題して（一社）全国農業会議所 専門相談員で地方考夢員研究所長でもある澤畑佳夫氏が講演されました。

今までの合意形成の主な手法「行政等主導・提案型」ではなく、市民と行政等がそれぞれの特性を活かし、共通する目標の実現に向けて連携すること「市民協働」が必要であるとのことや「実質的な人・農地プラン」の策定には、農業委員、農地利用最適化推進委員が中心となり、地域の皆さんと作って推進していくことが重要であるとのことでした。

◇全国農業委員会会長大会◇

令和元年11月28日、メルパルクホール（東京）にて令和元年度全国農業委員会会長大会が、開催され、当農業委員会 会長 武村秀夫が出席しました。

食料安全保障の確立と食料自給率・力の向上、農業委員会組織の体制強化等6項目を盛り込んだ「新たな『食料・農業・農村基本計画』の策定等に向けた要請決議」、「『地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動』のさらなる推進」などの申し合わせを決議しました。

《 第 2 2 期栗東市農業委員会委員 ◆ 第 1 期栗東市農業委員会農地利用最適化推進委員 》

農地法に基づく申請・届出その他関係書類の

現 地 確 認 担 当 一 覧

農地法に基づく申請や届出等の手続き書類の現地の判断や、農地等に関するご相談は、下記の担当が対応します。

(担当期間：平成29年7月20日～令和2年7月19日)

区 域	担 当 集 落 名	職	担 当	連 絡 先	副担当
金 勝	山入・辻越	農業委員	山本 益造	077-558-1650	谷口彰
	蔵町・中村	農地利用最適化推進委員	谷口 彰	077-558-1661	山本
	井上・東坂・観音寺	農地利用最適化推進委員	竹村 明	077-558-1734	谷口敏
	上向・下向・川南	農業委員	谷口 敏彦	077-558-1839	竹村
	美之郷・浅柄野・雨丸	農業委員	中島 豊勝	077-558-0444	片岡
	片山・走井・成谷	農地利用最適化推進委員	片岡 兵藏	077-558-0093	中島
葉 山	伊勢落・林	農業委員	武村 秀夫	077-552-3132	林悦
	六地蔵	農業委員	林 悦子	077-552-3713	武村秀
	小野	農地利用最適化推進委員	小山 邦一	077-551-0710	中村
	手原・大橋	農業委員	中村 三男	077-552-1213	小山
	宅屋・中・出庭	農業委員	松村 勉	077-552-3807	武村一
	辻・小坂・今土	農地利用最適化推進委員	武村 一	077-552-0441	松村
治 田	下戸山・目川	農業委員	佐野 守	077-552-3686	中井あ
	岡	農地利用最適化推進委員	木嶋 信雄	077-552-3913	佐野
	安養寺	農業委員	中井あけみ	077-552-0142	木嶋
	坊袋・川辺・上鉤	農業委員	林 久	077-552-4557	家城
	下鉤甲・下鉤乙・下鉤糠田井・ 小柿・小柿第1・新屋敷・中沢	農業委員	家城 繁雄	077-552-1588	林久
大 宝	蜂屋・野尻・苧原	農業委員	林 正和	077-552-0051	中井栄
	縋第1・縋北・縋南	農業委員	中井 栄夫	077-552-0353	林正
	市川原・笠川・霊仙寺	農地利用最適化推進委員	杉田 聰司	077-552-4595	駒井
	小平井・北中小路・十里	農業委員	駒井 英祐	090-9865-5381	杉田

☆総会日程☆

- 第 30 回栗東市農業委員会総会・・令和2年 1月10日(金) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室
- 第 31 回栗東市農業委員会総会・・令和2年 2月10日(月) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎4階 協議会室
- 第 32 回栗東市農業委員会総会・・令和2年 3月10日(火) 午前9時30分～ 場所:市役所庁舎2階 第1会議室

第22期栗東市農業委員会 会長：武村 秀夫 副会長：駒井 英祐
 編集：栗東市農業委員会農政・広報部会 農政・広報部会長：林 久
 農政・広報部会員：林 久 / 中村三男 / 中島豊勝 / 中井栄夫 / 中井あけみ / 家城繁雄
 発行日：令和元年12月13日(金) 発行：栗東市農業委員会 TEL:077-551-0319 FAX:077-551-0148